

平成 24 年度事業報告書

千早赤阪春の家デイサービスセンター

通所介護 ・ 介護予防通所介護

今年度（平成 24 年度）は介護報酬改定により大幅な介護報酬の減少が予測出来た為、稼働率向上を最大の目標と定めた。新規利用者の獲得・スポット利用の依頼・現利用者の利用増加等を目指し、サービス内容の改善、プログラムの充実化・多様化、職員の技術・ノウハウの獲得に努めた。

1. 事業実績

(1)、利用実績（稼働率）

平成 24 年度 月別利用者人数表 （ ）は前年比

月	4	5	6	7	8	9	10	11	
営業日	21(±0)	23(+1)	21(-1)	22(+1)	23(±0)	20(-1)	23(+2)	22(±0)	
通所 介護	延べ人数	411(+89)	468(+116)	437(+73)	427(+55)	393(-2)	388(+16)	430(+69)	384(+49)
	登録人数	44	47	46	45	41	41	43	42
介護 予防 通所 介護	延べ人数	49(-1)	45(±0)	39(-14)	48(-5)	63(+8)	44(-12)	18(-41)	32(-18)
	登録人数	7	5	5	6	6	4	2	5
計	460(+88)	513(+116)	476(+59)	475(+50)	456(+6)	432(+4)	448(+28)	416(+31)	
月	12	1	2	3	総合計	平成 23 年度		平成 24 年度	
営業日	20(-1)	20(+1)	20(+1)	21(-1)		営業日	255(日)	256(日)	
通所 介護	延べ人数	336(+7)	328(+16)	326(-20)		365(-7)	通所介護	4232(人)	4693(人)
	登録人数	37	41	44		47			
介護 予防 通所 介護	延べ人数	22(-33)	20(-33)	19(-29)		21(-33)	介護予防	631(人)	420(人)
	登録人数	4	3	3		3			
計	358(-26)	348(-17)	345(-49)	386(-40)	総合計	4863(人)	5113(人) (+250)		

(2)、新規利用者・スポット利用者数及び居宅支援事業者数実績

< i >新規利用者数

平成 24 年度新規利用者人数 (名)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
2(±0)	3(+1)	0 (-4)	1 (-2)	0 (-3)	1 (-1)	
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
2(+1)	3 (±0)	1 (-1)	1 (±0)	3 (-1)	4 (+4)	21 (名)

< ii >スポット利用者数

平成 24 年度スポット利用受入者数 (名)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
12(+7)	17 (+14)	7 (+1)	5 (+4)	4(±0)	11 (+10)	
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計
4 (-1)	6 (+4)	6 (-1)	9 (+5)	2 (+1)	2 (-9)	85 (名) (+35)

< iii >居宅支援事業所数

平成 23 年度 主な介護支援事業所		平成 24 年度 主な介護支援事業所	
千早赤阪春の家 CPC		千早赤阪春の家 CPC	陽だまりの里居宅介護支援事業所
春の家居宅介護支援事業所		春の家居宅介護支援事業所	さらそうじゅ居宅介護支援事業所
千早訪問看護ステーション		千早訪問看護ステーション	あいづらん居宅介護支援事業所
千早赤阪村地域包括支援センター		千早赤阪村地域包括支援センター	青山第二病院ケアプランセンター
新堂診療所 CPC		新堂診療所 CPC	エスコープ大阪サポートセンター金剛
オレンジ荘介護センター		オレンジ荘介護センター	富田林市第二包括支援センター
総合 CPC		総合 CPC	
計	7	計	13

上記(1)から最大の目標と位置付けた稼働率は前年度と比べると約3%増加していることがわかる。しかし、介護報酬においては予測通り、前年度より約3.9%低下する結果となっており(内訳は、国保支払額の減少・利用者負担額の増加となっている)、稼働率の向上は少し見受けられたものの全体としての稼働率は約67%とまだまだ低い状態であるという結果であった。だが、(2-i・ii)から今年度も安定した新規利用者数の獲得・スポット利用者数の大幅増加していることが伺え、(2-iii)では今まで関係が薄かった居宅介護支援事業所や包括支援センター等と関係が繋がるが多くなったことがわかる。

2. 活動報告

(1)、活動内容の充実化

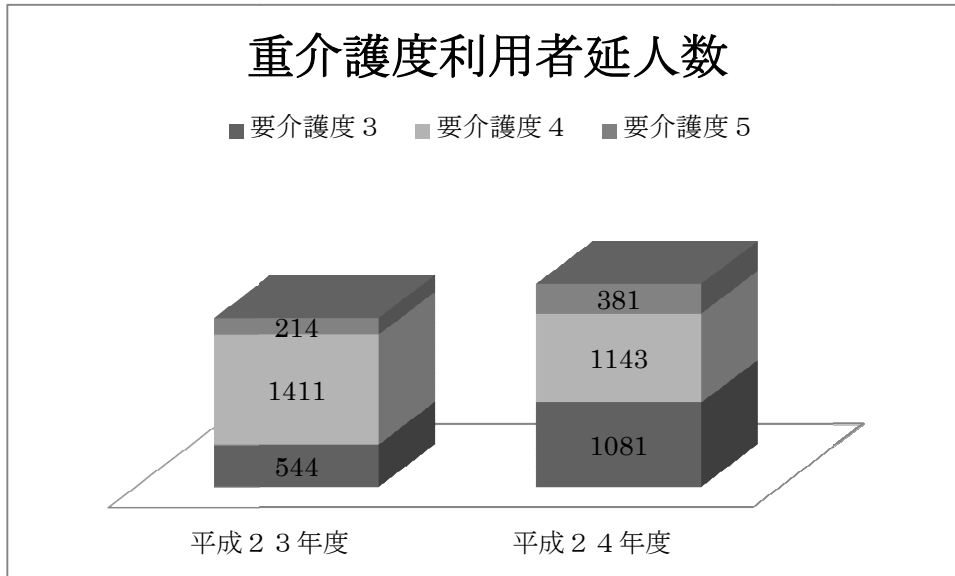
今年度も新規利用者数・実利用者数・スポット利用者数等稼働率の向上を目指し、クラブ活動の充実化・レクリエーションの「利用者選択式」の継続・各委員会の設置等多くの業務改善・プログラムの見直しを行い、「質の高いサービス」の提供に努めた。特に機能訓練においては、加算対象外になったものの「加算をとってなくても出来る」をモットーに様々な利用者のニーズに応える為、全体での機能訓練に加えて、平行棒を使った歩行訓練やマシンを使用した筋力トレーニング等を積極的に取り入れ、実施した。又、クラブ活動においても昨年度は4つであった活動も8つに増やし、レクリエーション・余暇活動の充実にも努めました。

活動内容

4月	・お花見ドライブ（PL本庁） ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
5月	・こいのぼり週間 ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
6月	・てるてる坊主週間 ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
7月	・七夕週間 ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
8月	・夏祭り週間 ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
9月	・敬老週間 ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
10月	・運動会週間 ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
11月	・紅葉ドライブ ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
12月	・クリスマス週間 ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
1月	・新春週間 ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
2月	・節分週間 ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション
3月	・お花見ドライブ ・誕生日会 ・クラブ活動（手芸・農園・カラオケ・喫茶・音楽・ミュージックケア・芸術・俳句） ・小規模レクリエーション

(2)、職員の質の向上

活動内容の充実化と共に職員の専門的な知識やノウハウの修得を目指し、定期的な職員会議・勉強会の開催や外部研修にも参加することで要介護者3~5の介助を要する利用者や胃瘻造設者・バルーンカテーテル留置者等の利用者の受け入れを事業所として行い、介護度が高い利用者にも積極的に対応しました。



職員会議内容

4 月	<ul style="list-style-type: none"> 平成 23・24 年度事業計画報告 行事関係について 業務改善 (委員会報告) 利用者カンファレンス
5 月	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員処遇改善加算について 業務改善 (委員会報告) 利用者カンファレンス
6 月	<ul style="list-style-type: none"> 行事週間について 業務改善 (委員会報告) 利用者カンファレンス
7 月	<ul style="list-style-type: none"> 行事関係について 業務改善 (委員会報告) 接遇面について 利用者カンファレンス
8 月	<ul style="list-style-type: none"> 行事関係について 業務改善 (委員会報告) 業務改善について (業務時間・内容の改善) 利用者カンファレンス
9 月	<ul style="list-style-type: none"> 行事関係について 業務改善 (委員会報告) 業務改善について (情報の共有について) 利用者カンファレンス
10 月	<ul style="list-style-type: none"> 行事関係について ヒヤリ、ハット検討 業務改善 (委員会報告) 移乗方法について 利用者カンファレンス
11 月	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策 (インフルエンザ、ノロウイルス) について 業務改善 (委員会報告) 移乗方法について 利用者カンファレンス
12 月	<ul style="list-style-type: none"> 行事関係について ヒヤリ、ハット検討 業務改善 (委員会報告) 利用者カンファレンス
1 月	<ul style="list-style-type: none"> 行事関係について 業務改善 (委員会報告) 移乗方法について 利用者カンファレンス

2月	・行事関係について	・業務改善（委員会報告）
	・来年度に向けての取り組みについて	・利用者カンファレンス
3月	・行事関係について	・業務改善（委員会報告）
	・移乗方法について	・利用者カンファレンス

3. 総括

今年度は、「稼働率の向上」を最大の目標に定め、職員一人一人がご利用者様に「より良いサービスを提供する為にはどうすれば良いか」・「どうすれば楽しんで頂けるか」を考え、クラブ活動・余暇活動等活動内容の充実化、業務改善、技術の修得に努めてきました。その結果、新規利用者の獲得、スポット利用者数の増加、現利用者の利用曜日の増加等稼働率向上においてはある程度の成果を出すことが出来たと思います。しかし、まだまだ改善しなければならない点は多く、今後も平成 24 年度で評価出来る点、出来ない点を考え、改善・解決しながら今後も「質の高いサービス」を提供し、新規利用者やスポット利用者等稼働率の向上を目指します。